

## 安全データシート

## 2-アミノエタノール

改訂日: 2024-05-09 版番号: 1

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品識別子

製品名	: 2-アミノエタノール
CB番号	: CB1218589
CAS	: 141-43-5
EINECS番号	: 205-483-3
同義語	: モノエタノールアミン, 2-アミノエタノール

## 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: 本物質の主な用途は、合成洗剤(中和剤としてまた起泡安定剤原料として)、乳化剤、化粧品(クリーム類)、靴墨、つや出し、ワックス、農薬、有機合成(医薬品、農薬、ゴム薬、界面活性剤など)、切削油、潤滑油などの添加剤、防虫添加剤、繊維の柔軟剤原、ガス精製(アンモニア、メタノールなどの合成原料ガスより炭酸ガス、硫化水素の除去)、有機溶剤、pH調節剤、中和剤
推奨されない用途	: なし

## 会社ID

会社名	: Chemicalbook
住所	: 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	: 400-158-6606

## 2. 危険有害性の要約

## 2.1 GHS分類

引火性液体 (区分4), H227  
急性毒性, 経口 (区分4), H302  
急性毒性, 吸入 (区分4), H332  
急性毒性, 経皮 (区分4), H312  
皮膚腐食性及び皮膚刺激性(区分1B), H314  
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 (区分1), H318  
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) (区分3), 気道刺激性, H335  
水生環境有害性 (急性) (区分2), H401  
水生環境有害性 (長期間) (区分3), H412  
このセクションで言及された H-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。

## 2.2 注意書きも含む GHSラベル要素

絵表示

GHS05	GHS07
-------	-------

#### 注意喚起語

危険

#### 危険有害性情報

H227 可燃性液体。

H302 + H312 + H332 飲み込んだり、皮膚に接触したり、吸入すると有害。

H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

H335 呼吸器への刺激のおそれ。

H401 水生生物に毒性。

H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

#### 注意書き

#### 安全対策

P210 熱 / 火花 / 裸火 / 高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。

P261 粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

P273 環境への放出を避けること。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

#### 応急措置

P301 + P312 + P330 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。

P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

P304 + P340 + P310 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

P305 + P351 + P338 + P310 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

P370 + P378 火災の場合：消火するために乾燥砂、粉末消火剤（ドライケミカル）または耐アルコール性フォームを使用すること。

#### 保管

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

P405 施錠して保管すること。

#### 廃棄

P501 残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

### 2.3 他の危険有害性

なし

---

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 化学物質

別名	: Monoethanolamine 2-Aminoethyl alcohol 2-Aminoethanol
化学特性(示性式、構造式 等)	: C <sub>2</sub> H <sub>7</sub> NO
分子量	: 61.08 g/mol
CAS番号	: 141-43-5
EC番号	: 205-483-3
化審法官報公示番号	: 2-301
安衛法官報公示番号	: -

---

## 4. 応急措置

### 4.1 必要な応急手当

#### 一般的アドバイス

医師に相談する。この安全データシートを担当医に見せる。

#### 吸入した場合

吸い込んだ場合、新鮮な空気のある場所に移す。呼吸していない場合には、人工呼吸を施す。医師に相談する。

#### 皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣服と靴を脱ぐ。石けんと多量の水で洗い流す。医師に相談する。

#### 眼に入った場合

多量の水で15分以上よく洗浄し、医師の診察を受けること。

#### 飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。口を水ですすぐ。医師に相談する。

### 4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

### 4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

---

## 5. 火災時の措置

### 5.1 消火剤

#### 使ってはならない消火剤

ウォータージェットは使用しない。

#### 消火剤

水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用すること。

### 5.2 特有の危険有害性

炭素酸化物, 窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)

可燃性。

## 5.3 消防士へのアドバイス

消火活動時には必要に応じて自給式呼吸装置を装着する。

## 5.4 詳細情報

未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。

---

# 6. 漏出時の措置

## 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

保護具を使用する。蒸気、ミスト、またはガスの呼吸を避ける。十分な換気を確保する。付近の発火源となるものを取り除く。安全な場所に避難する。蒸気がたまと爆発性濃縮物が生成されるので要注意。蒸気は低いところにたまる可能性あり。個人保護については項目 8 を参照する。

## 6.2 環境に対する注意事項

安全を確認してから、もれやこぼれを止める。物質が排水施設に流れ込まないようにする。環境への放出は必ず避けなければならない。

## 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出物を閉じ込め、不可燃性の吸収剤(砂、土、珪藻土、バーミキュライト等)を使用して集め、地域/国の規則に従い廃棄するために容器に入れる(項目 13 を参照)。廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

## 6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

---

# 7. 取扱い及び保管上の注意

## 7.1 安全な取扱いのための予防措置

皮膚や眼への接触を避けること。蒸気や噴霧の吸い込みを避けること。発火源から離しておいてください—禁煙。静電気の蓄積を防止する手段を講じる。注意事項は項目2.2を参照。

## 7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。吸湿性あり

## 7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

---

# 8. ばく露防止及び保護措置

## 8.1 管理濃度

コンポーネント別作業環境測定パラメータ

OEL-M: 3 ppm 7.5 - 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告

TWA: 3 ppm - 米国。ACGIH限界閾値 (TLV)

## 8.2 曝露防止

### 適切な技術的管理

十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。休憩前や終業時には手を洗う。

### 保護具

#### 眼 / 顔面の保護

密着性の高い安全ゴーグル 防災面を着用する（8インチ / 20.3cm以上）。NIOSH（US）またはEN 166（EU）などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。

#### 皮膚及び身体の保護具

手袋を着用して取扱う。使用前に、必ず手袋を検査する。（手袋外面に触れずに）適切に手袋を脱ぎ、本製品の皮膚への付着を避ける。適用法令およびGLPに従い、使用後に汚染手袋を廃棄する。手を洗い、乾燥させる。

選ばれた防護手袋は、EU指令2016/425の仕様と、それから派生する規格EN374を満たすものでなければならない。

#### フルコンタクト

材質: 天然ラテックス/クロロプレン

最小厚: 0.6 mm

破過時間: 480 min

試験物質: Lapren? (KCL 706 / Aldrich Z677558, Size M)

#### 飛沫への接触

材質: ニトリルゴム

最小厚: 0.2 mm

破過時間: 30 min

試験物質: Dermatril® P (KCL 743 / Aldrich Z677388, Size M)

データソース: KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, 電話 +49 (0)6659 87300, e-mail sales@kcl.de,

試験方法: EN374

EN374とは違った条件の下で、溶液の中、または他の物質と混ぜて使われる場合は、EC認可手袋の供給業者に問い合わせる。この勧告は単なる助言であり、予想される用途の特定状況に精通した産業衛生専門家並びに安全管理者により評価されなければならない。任意の使用方法について許可を受けていると理解すべきではない。

#### 身体の保護

化学防護服, 特定の作業場に存在する危険物質の濃度および量に応じて、保護装置のタイプを選択しなければならない。

#### 呼吸用保護具

リスクアセスメントによりろ過式呼吸用保護具が適切であると示されている場所では、工学的制御のバックアップとして、多目的直結式（US）またはABEK型（EN14387）呼吸用保護具カートリッジ付き全面形呼吸用保護具を使用する。呼吸用保護具が唯一の保護手段である場合、全面形送気マスクを使用する。NIOSH（US）またはCEN（EU）などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた呼吸用保護具および部品を使用する。

#### 環境曝露の制御

安全を確認してから、もれやこぼれを止める。物質が排水施設に流れ込まないようにする。環境への放出は必ず避けなければならない。

## 9. 物理的及び化学的性質

### Information on basic physicochemical properties

外観	形状: 液体, 透明色: 無色
臭い	アミン臭
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	12.1 at 100 grm/l at 20 °C
融点・凝固点	融点/ 範囲: 10 - 11 °C
沸点, 初留点及び沸騰範囲	170 °C
引火点	91 °C at 約1,013 hPa - ペンスキーマルテンス密閉式引火点試験 - ISO (国際標準化機構) 2719
蒸発速度	データなし
燃焼性(固体、気体)	データなし
引火上限/下限または爆	爆発範囲の上限: 17 %(V)
発限界	爆発範囲の下限: 2.5 %(V)
蒸気圧	0.5 hPa at 20 °C - (算定値)
蒸気密度	2.11 - (空気=1.0)
比重	1.012 g/mL at 25 °C
水溶性	1,000 grm/l at 20 °C - 完全に混和性である
n-オクタノール / 水分係数	log Pow: -2.3 at 25 °C - 生物濃縮は予測されない。
自然発火温度	424 °Cat 1,013 hPa - ASTM (米国試験材料協会) E-659
分解温度	データなし
粘度	23.5 mm <sup>2</sup> /s at 20 °C - 9.8 mm <sup>2</sup> /s at 40 °C -
爆発特性	データなし
酸化特性	データなし
相対蒸気密度	2.11 - (空気=1.0)

### 9.2 その他の安全情報

#### 相対蒸気密度

2.11 - (空気=1.0)

## 10. 安定性及び反応性

### 10.1 反応性

データなし

### 10.2 化学的安定性

空気中の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を吸収する。

推奨保管条件下では安定。

### 10.3 危険有害反応可能性

データなし

### 10.4 避けるべき条件

湿気への暴露。

熱、炎、火花。

## 10.5 混触危険物質

強酸と強酸化剤, 鉄, 銅, 黄銅, ゴム

## 10.6 危険有害な分解生成物

有害な分解生成物が火があるとき生成される。 - 炭素酸化物, 窒素酸化物(NOx)

その他の分解生成物 - データなし

火災の場合:項目5を参照

---

# 11. 有害性情報

## 11.1 毒性情報

### 急性毒性

LD50 経口 - ラット - オスおよびメス - 1,089 mg/kg

(OECD 試験ガイドライン 401)

LD50 経皮 - ウサギ - 1,015 mg/kg

備考: (RTECS)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚 - ウサギ

結果: 腐食性 - 4 h

(OECD 試験ガイドライン 404)

(EU) 1272/2008規則, Annex VI (Table 3.1/3.2)に基づく分類

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

眼 - ウサギ

結果: 腐食性

(OECD 試験ガイドライン 405)

重篤な眼の損傷。

### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

マキシマイゼーション試験 - モルモット

結果: 陰性

備考: (ECHA)

### 生殖細胞変異原性

#### Ames 試験

大腸菌/ネズミチフス菌

結果: 陰性

#### in vitro染色体異常試験

ラット肝細胞

結果: 陰性

#### in vitro哺乳動物細胞遺伝子変異試験

マウスリンパ腫細胞

結果: 陰性

in vitro哺乳動物細胞遺伝子変異試験

チャイニーズハムスター繊維芽細胞

結果: 陰性

(ECHA)

OECD 試験ガイドライン 474

マウス - オスおよびメス - 骨髄

結果: 陰性

**発がん性**

IARC: この製品に 0.1% 以上存在している成分で、IARC によりヒト発がん性物質の可能性があり、となり得る、またはヒト発がん性物質であるとして確認されている物はない。

**生殖毒性**

データなし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

データなし

吸引性呼吸器有害性

データなし

追加情報

反復投与毒性 - ラット - オスおよびメス - 経口 - > 75 Days - 無毒性レベル - 300 mg/kg

(ECHA)

RTECS: KJ5775000

肝臓 - 便秘 - ヒトの証拠に基づく

---

## 12. 環境影響情報

### 12.1 生態毒性

**魚毒性**

半静止試験 LC50 - *Cyprinus carpio* (コイ) - 349 mg/l - 96 h

(欧州司令92/69/EEC附則Vによる試験済み。)

ミジンコ等の水生無脊

止水式試験 EC50 - *Daphnia magna* (オオミジンコ) - 65 mg/l - 48 h

**椎動物に対する毒性**

(理事会規則 (EC) No. 440/2008, 付属書, C.2)

**藻類に対する毒性**

止水式試験 ErC50 - *Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻) - 2.8 mg/l - 72 h

(OECD 試験ガイドライン 201)

止水式試験 最大無影響濃度 - *Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻) - 1 mg/l

- 72 h

(OECD 試験ガイドライン 201)

**微生物毒性**

止水式試験 EC10 - 活性汚泥 - > 1,000 mg/l - 30 min



(OECD 試験ガイドライン 209)

## 12.2 残留性・分解性

### 生分解性

好気性 - 曝露時間 21 d

結果: > 90 % - 易分解性。

(OECD テスト ガイドライン 301A)

結果: 90 - 100 % - 易分解性。

(OECD 試験ガイドライン 301F)

### 生化学的酸素要求量

800 mg/g

(BOD)

備考: (IUCLID)

### 理論上の酸素要求

1,310 mg/g

(量)

備考: (IUCLID)

## 12.3 生体蓄積性

データなし

## 12.4 土壤中の移動性

データなし

## 12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

---

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

#### 製品

免許を有する廃棄物処理業者に、余剰物で再使用不可の溶液として処理を依頼する。このような可燃性の物質は、アフターバーナーとスクラバーが備えられた化学焼却炉で焼却しても差し支えないと考えられる。汚染容器及び包装製品入り容器と同様に処分する。

---

## 14. 輸送上の注意

### 14.1 国連番号

ADR/RID (陸上規制): 2491 IMDG (海上規制): 2491 IATA-DGR (航空規制): 2491

### 14.2 国連輸送名

ADR/RID (陸上規制): ETHANOLAMINE

IMDG (海上規制): ETHANOLAMINE

IATA-DGR（航空規制）：Ethanolamine

### 14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID（陸上規制）：8 IMDG（海上規制）：8 IATA-DGR（航空規制）：8

### 14.4 容器等級

ADR/RID（陸上規制）：III IMDG（海上規制）：III IATA-DGR（航空規制）：III

### 14.5 環境危険有害性

ADR/RID: 非該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): IATA-DGR（航空規制）：非該当  
非該当

### 14.6 特別の安全対策

なし

### 14.7 混触危険物質

強酸と強酸化剤, 鉄, 銅, 黄銅, ゴム

---

## 15. 適用法令

### 15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

#### 国内適用法令

消防法:

第4類:引火性液体, 第三石油類, 危険等級III, 水溶性液体

毒物及び劇物取締法:

劇物 - エタノールアミン

#### 労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則:

非該当

有機溶剤中毒予防規則:

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物:

法第57条(施行令第18条)- エタノールアミン

名称等を通知すべき危険物及び有害物:

法第57条の2(施行令別表第9) - エタノールアミン

化学物質排出把握管理促進法:

第1種指定化学物質 - エタノールアミン

#### 化審法

優先評価化学物質

---

## 16. その他の情報

## 略語と頭字語

LC50: 致死濃度 50%

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

EC50: 有効濃度 50%

IATA: 国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

## 参考文献

- 【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>
- 【2】化学物質審査規制法（化審法） <https://www.env.go.jp>
- 【3】化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） <https://www.chemicoco.env.go.jp>
- 【4】NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP） <https://www.nite.go.jp/>
- 【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>
- 【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>
- 【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>
- 【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト [http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request\\_locale=en](http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en)
- 【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
- 【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
- 【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
- 【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
- 【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
- 【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

### 免責事項:

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。